

# 松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

## 鉱山の仕事を紹介「松尾鉱業鉄道①」

### ◆輸送の歴史(人力・荷馬車、ばん馬)

開山当時、製錬硫黄などの元山～好摩駅間の輸送は人の背や荷馬車が頼りで、好摩駅から先は東北本線で運ばれていました。松尾鉱業(株)創業の大正3年12月には屋敷台～寄木間7<sup>キロ</sup>の人力トロッコ軌道が竣工し、5年に大更まで延長。6年には岩北軌道(株)の平館～好摩間の営業開始に合わせて全線を馬鉄軌道化し、大更2往復/日の月間輸送量1,200トンを記録しました。



ばん馬で荷物を輸送する馬鉄軌道

### ◆鉱山専用鉄道から地方鉄道へ

11年8月、花輪線の開通に伴い岩北軌道(株)は廃止、昭和4年にガソリン機関車を導入し、屋敷台～大更間は8～12往復/日に増え、一部は客室を連結しました。7年から屋敷台駅や軌道、橋梁などの整備を進め、9年3月からは鉱山専用鉄道として鉄道省払下げの2500型蒸気機関車2両で運行を開始して大更4往復/日の輸送になりました。化学産業などの需要も伸び、13年には機関車も7両に増え、戦前最大の月間輸送量65,000トンを記録しました。

戦時中の生産停滞や終戦直後の苦境を乗り越え、22年に鉄道部を新設。硫化鉄鉱の肥料利用などによる需要増に応え本数も大更12往復/日に回復し、翌年には機関車9両を有する地方鉄道となって全国の駅に共通の切符で乗り継げる連絡運輸も開始しました。さらに25年からは京浜地区に向けて665<sup>トン</sup>積/無蓋車19両の急行「ピストン列車」(通称)での定量輸送が始まりました。

# 図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

### ■ 新着雑誌・コミックスの紹介 ■

旅の気分が味わえる旅行や街歩き雑誌11点と、話題のコミックスが蔵書に加わりましたので一部を紹介します。人気書籍は予約をしてください。

タイトル	著者/出版
るるぶ東京 '23	JTB パブリッシング
るるぶ北海道 '23	JTB パブリッシング
るるぶ岩手 '23	JTB パブリッシング
るるぶ仙台松島宮城 '23	JTB パブリッシング
るるぶ福島会津磐梯 '23	JTB パブリッシング
ことりっぷ 角館・盛岡	昭文社
ことりっぷ いわて	昭文社
東北日帰りドライブ ぴあMOOK	ぴあ
呪術廻戦 0～18	芥見 下々/集英社



旅行雑誌



呪術廻戦

### ◆エコバック募集中

市立図書館では、貸し出しバックとして再利用するエコバックを集めています。不要になった不織布や布製のエコバック、トートバックなどがあれば、提供してください。※現在貸出中のバックは定期的に洗濯をしているので、利用中の人は返却してください。



貸し出しバックはカウンターに設置しています